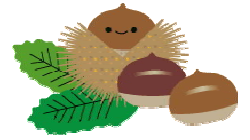




さんぽっぽ

～景観だより～
～第14号(24.10)～



★ 秋の夜空をながめてみよう ★

だんだんと涼しくなり、月や星もきれいにみえるようになりましたね。庭やベランダから夜空をながめるのにとてもいい季節です。

昔から9月7日から10月8日の間に訪れる満月の日を十五夜・中秋の名月と呼び、澄んだ空に見えるきれいな月をながめ、ススキやお団子をお供えていました。



また、鹿児島には、十五夜のお祭りで、ワラヤカヤで作った手作りの大綱を引きあい、その綱を土俵にして、子供たちが相撲をとるとい地域もあります。

みなさんのところには、綱引きのお祭りはありますか。今回は、十五夜や十三夜など月について調べてみました。



・十五夜の月(満月)
・時期は9月から10月の初め頃
・今年(ことし)は9月30日



・十三夜の月
・時期は十五夜から約1ヵ月後
・十五夜の次に美しい月と言われる
・今年(ことし)は10月27日

★ 月の模様は何にみえる？

日本では、月にはうさぎがいてお餅をついていると言われていたのですが、ほかの国でも同じなのでしょう。実は月の模様が何に見えるかは、国によってさまざまで「うさぎ」だけではないようです。

★ 日本



もち餅をつかうさぎ

★ カナダインディアン



バケツを運ぶ少女

★ 北ヨーロッパ



本を読むおばあさん

★ 南ヨーロッパ



大きなはさみのカニ

★ バイキング(海賊)



水を運ぶ男女

★ 東ヨーロッパ



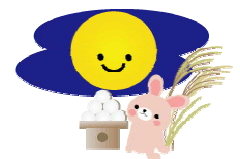
女性の横顔

★ アラビア



ほえるライオン

いろいろ見えるんですね。あなたは何に見えますか？ 反対に見たり、横にしたり、じっと見えてみてください。何か違うものが見えてくるかもしれませんね。



参考文献：『太陽と月の星ものがたり』